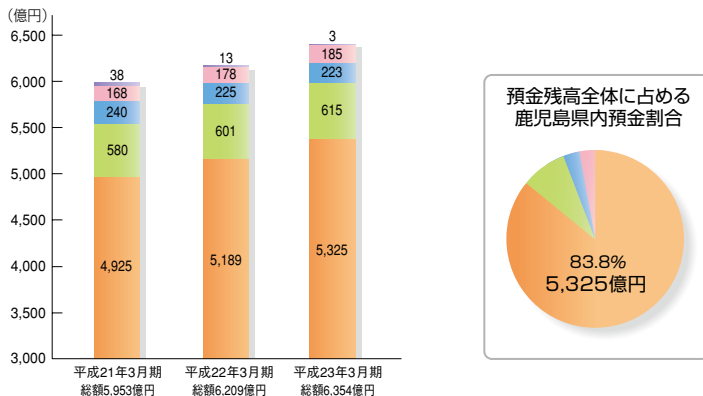


平成23年3月期 決算概要(単体)

● 預 金

預金は、各種キャンペーンの展開などによりお客様の資金運用ニーズにお応えした結果、平成22年3月末に比べ144億円増加し6,354億円になりました。

●預金残高の推移 ●鹿児島県 ●熊本県 ●福岡県 ●宮崎県 ●その他

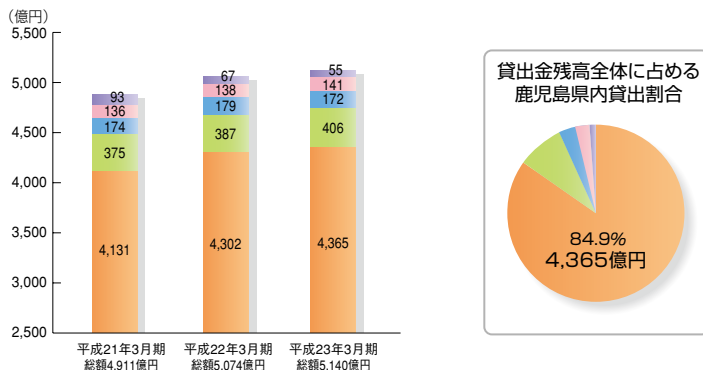


● 貸 出 金

貸出金は法人や個人のお客様の資金ニーズに積極的にお応えした結果、66億円増加し5,140億円となりました。

総貸出のうち91.4%が中小企業・個人向け貸出であり、当行では地域のお客様に安定的な資金を供給し地域経済活性化へ貢献しております。

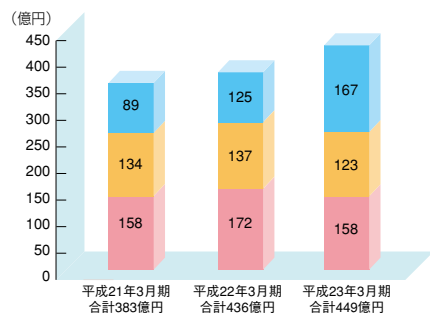
●貸出金残高の推移 ●鹿児島県 ●熊本県 ●福岡県 ●宮崎県 ●その他



● 預り資産残高

預り資産残高は、平成22年3月期と比べ13億円増加し449億円となりました。なかでも個人年金保険は、需要の高まりを受けて平成22年3月期より42億円増加し167億円となり、預り資産全体に占める割合も37.2%となっております。

●預り資産残高推移 ●投資信託 ●国債 ●個人年金保険



● 自己資本比率

●自己資本比率(単体) 8.51%

自己資本比率は貸出金や有価証券などの総資産(リスクアセット)に対する自己資本(資本金内部留保など)の割合を示すもので、銀行の健全性や安全性をみるうえで重要な指標となっております。

平成23年3月期の自己資本比率は8.51%で、国内で業務を行う銀行の基準4%を大きく上回っております。また、資本金などの基本的項目(TierI)だけで算出した場合は6.61%となります。

